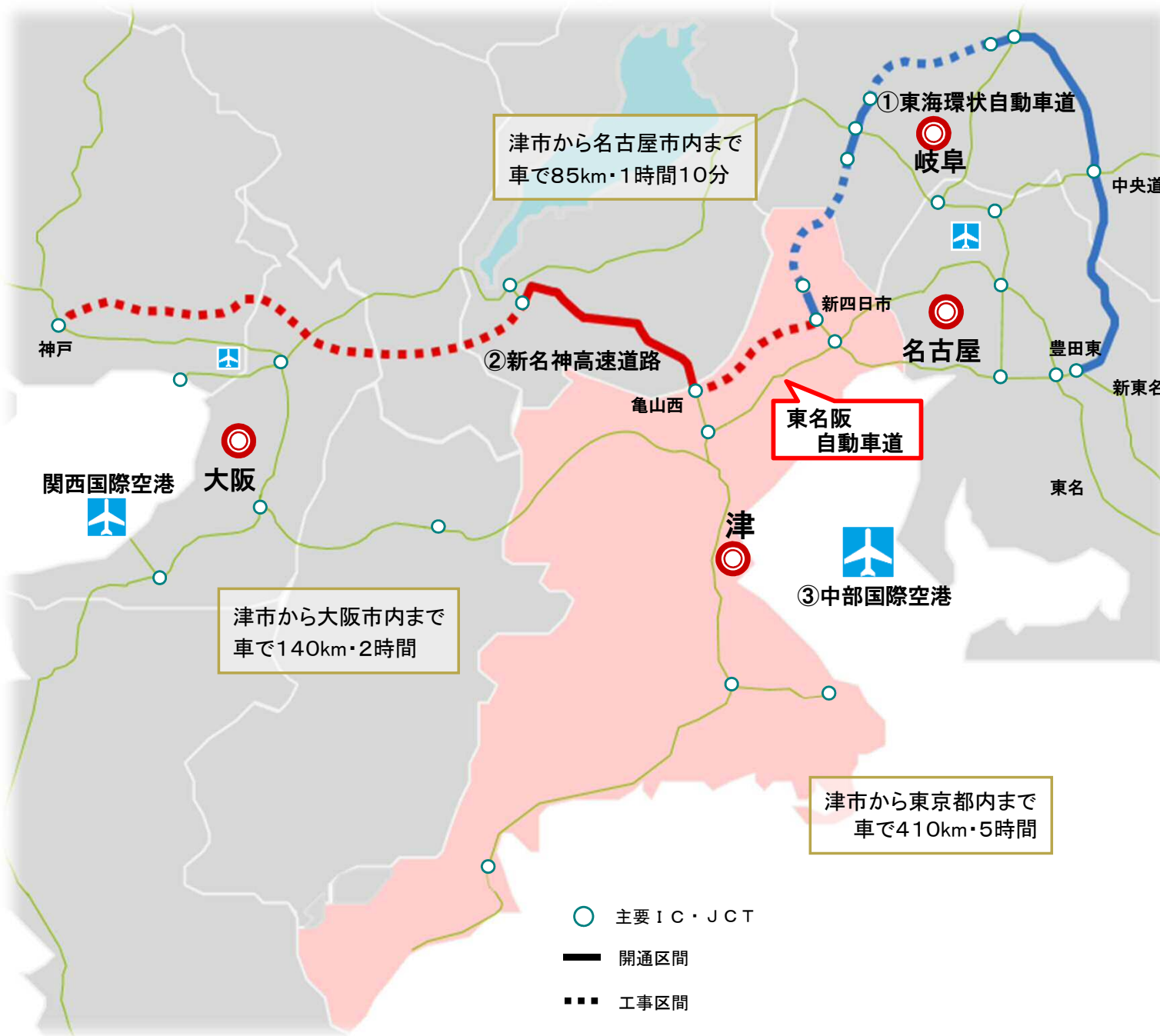


営業地域のインフラ整備状況



① 東海環状自動車道

名古屋市周辺30～40km圏に位置する市町を結ぶ全長160kmの幹線道路。航空機産業や自動車産業の集積地と繋がることで、三重県への企業・工場進出の機運が高まり、雇用拡大が期待される。

② 新名神高速道路

(三重県内:新四日市JCT-亀山西JCT) 中部地区と関西地区を繋ぐ国内物流の大動脈となる。東名阪自動車道の渋滞解消も期待されるため、物流拠点としての三重県の魅力がさらに向上する。

③ 中部国際空港(セントレア)の空港島開発

- ・ 空港島内にセントレア直結の国際展示場(6万㎡)が整備予定。
- ・ 愛知県知事が、統合型リゾートIRの誘致の検討を表明。